

2010年度 全国のチャイルドライン実施報告

(チャイルドライン・データベースより 2011年5月10日現在の数値)

(都道府県別トラフィックはNTTコミュニケーションズのトラフィック調査ツールより算出)

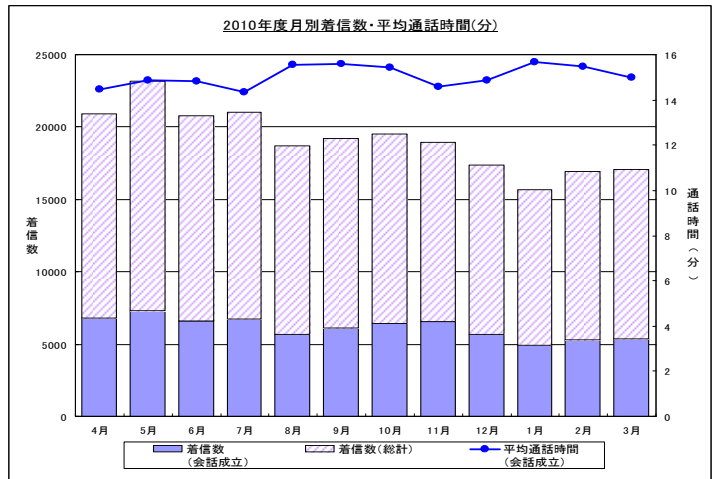
・月別着信数(全体・うち会話成立)

全体の様子

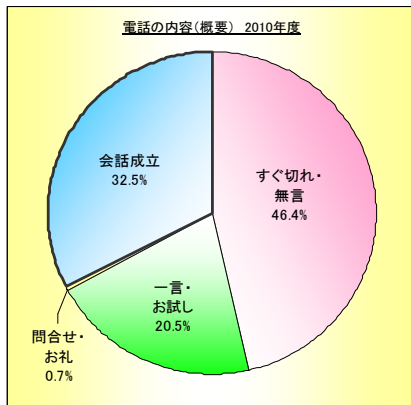
2010年度(2010年4月～2011年3月)に、全国のチャイルドラインで着信した電話は**229,303**件(2009年度247,282件)でした。そのうち、会話が成立した電話は73,540件(32.5%)、「すぐ切れた」「無言」が105,035件(46.4%)、「一言・意味不明」「お試し・いたずら」が46,450件(20.5%)、「問合せ・お礼」が1,580件(0.7%)でした。

平均通話時間は全体で5分24秒、会話の成立した電話で15分00秒(2009年度14分18秒)でした。また、電話の多かった時間帯は16時台で、49,463件でした。

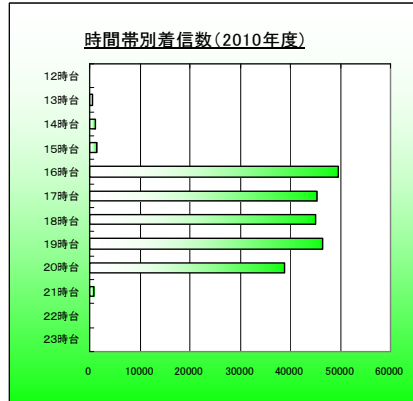
2009年度と比較して、着信数は17,979件の減少となった一方で、平均通話時間は会話成立の場合42秒増加しています。



・電話の概要



・時間帯別着信数



・都道府県別トラフィック

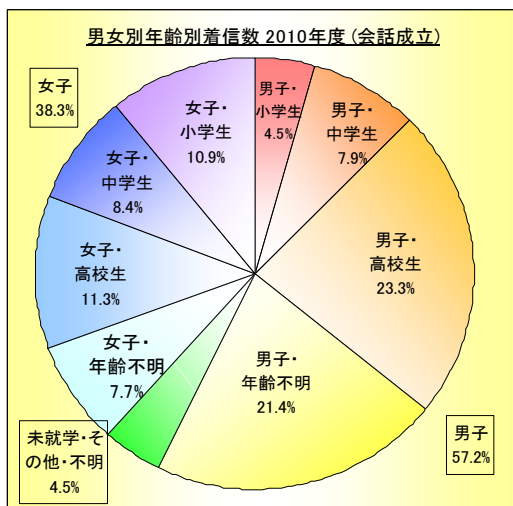
都道府県名	アクセス数	着信数	平均通話	総通話分
北海道	35,412	15,097	2分52秒	43,182分
青森県	464	164	10分15秒	1,680分
秋田県	22,751	8,673	3分35秒	31,113分
岩手県	1,802	570	4分53秒	2,780分
宮城県	10,512	3,531	7分01秒	24,755分
山形県	3,034	905	9分17秒	8,400分
福島県	1,265	419	12分47秒	5,359分
新潟県	17,279	4,917	5分48秒	28,498分
長野県	23,800	5,970	7分24秒	44,219分
群馬県	4,750	1,255	6分40秒	8,365分
栃木県	10,185	2,802	7分15秒	20,295分
茨城県	10,322	3,183	6分07秒	19,494分
東京都	85,675	21,316	5分30秒	117,252分
神奈川県	39,998	13,916	5分46秒	80,294分
千葉県	16,918	3,731	8分28秒	31,600分
埼玉県	49,086	13,396	5分53秒	78,867分
山梨県	10,225	2,471	3分54秒	9,650分
愛知県	57,665	14,403	6分32秒	94,200分
静岡県	18,017	5,334	3分11秒	17,017分
岐阜県	3,744	1,189	5分32秒	6,582分
三重県	36,115	12,113	3分02秒	36,769分
富山県	3,769	1,117	7分33秒	8,436分
石川県	23,560	9,157	3分50秒	35,035分
福井県	2,142	671	4分53秒	3,272分
大阪府	45,422	13,122	3分00秒	39,276分
京都府	23,942	7,822	4分52秒	38,100分
滋賀県	18,605	6,635	2分14秒	14,855分
奈良県	2,235	512	5分55秒	3,028分
和歌山県	4,909	1,027	6分45秒	6,927分
兵庫県	29,883	9,273	4分04秒	37,770分
岡山県	16,004	5,167	8分25秒	43,480分
広島県	31,453	11,377	5分46秒	65,654分
島根県	1,973	667	8分46秒	5,846分
鳥取県	2,138	757	5分32秒	4,185分
山口県	3,760	975	8分25秒	8,214分
香川県	607	236	5分59秒	1,414分
徳島県	3,595	1,081	8分19秒	8,991分
高知県	15,591	5,964	1分57秒	11,624分
愛媛県	1,623	641	13分48秒	8,851分
福岡県	29,789	10,588	2分50秒	30,041分
佐賀県	3,221	1,106	5分18秒	5,871分
長崎県	2,759	650	5分09秒	3,351分
熊本県	1,197	473	14分18秒	6,766分
大分県	1,793	646	4分18秒	2,776分
宮崎県	5,745	1,909	5分01秒	9,581分
鹿児島県	2,807	1,004	6分48秒	6,825分
沖縄県	2,602	555	7分13秒	4,003分
合計	740,143	228,487	4分55秒	1,124,542分

かけてきた子どもの性別・年齢

会話成立の電話のうち、かけ手の性別は、男子42,067件(57.2%)、女子28,171件(38.3%)、性別不明やその他が3,302件(4.5%)でした。

年齢層については、男子は小学生が3,345件(4.5%)、男子中学生5,806件(7.9%)、高校生が最も多く17,146件(23.3%)、女子は小学生が7,984件(10.9%)、中学生が6,184件(8.4%)、高校生が8,331件(11.3%)でした。2009年度と比べると、女子の比率がやや減少しましたが、女子の高校生については昨年より比率が増加しています。

・男女別年齢別着信数



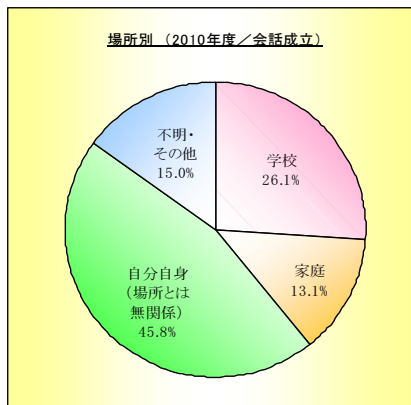
2010年度 全国のチャイルドライン実施報告

合計 740,143 228,487 4分55秒 1,124,542分

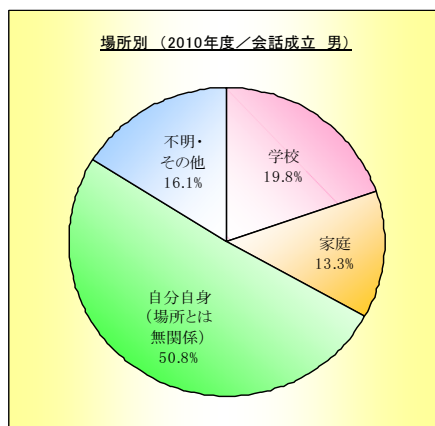
電話の内容

電話で話された内容がどこで起こったことか、については「学校でのこと」が26.1%、「家庭でのこと」が13.1%、「自分についてのこと」が45.8%、「その他・不明」が15.0%でした。男子では自分についてのことが50.8%と半分を占めているのに対し、女子では38.8%と低く、学校についてのことも36.7%と、男子の19.8%より比率が高くなっています。家庭についてはどちらも13.3%でした。2009年度と比較すると、男女とも自分についての話題が微増し、学校についての話題が微減となっています。

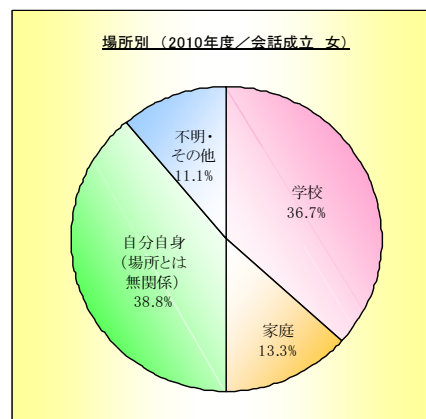
・場所別着信数(全体)



・場所別着信数(男子)



・場所別着信数(女子)



具体的な内容では、「雑談・話し相手」が17.2%で、「性」を抜いて初めて最も多くなりました。続いて「性」16.3%、友だちや家族との「人間関係」13.3%、「心の不安」が9.8%、「恋愛・異性関係」6.7%、「いじめ」が6.1%となりました。

男子では「性」が24.4%、女子では「人間関係」が22.7%でそれぞれ最も多くなりました。2009年度との比較ではどちらも比率が減少している一方、2番目の「雑談・話し相手」が増加しました。また、男子では2009年度に6番目にあった「心の不安」が6.5%から7.5%に増加し、3番目となりました。一方、女子では順番の入れ替わりはありませんでした。

電話の内容 2010年度 (会話成立)					
全体	比率	男子	比率	女子	比率
雑談・話し相手	17.2%	性	24.4%	人間関係	22.7%
性	16.3%	雑談・話し相手	17.1%	雑談・話し相手	17.1%
人間関係	13.3%	心の不安	7.7%	心の不安	13.2%
心の不安	9.8%	人間関係	7.5%	いじめ	8.2%
恋愛・異性関係	6.7%	恋愛・異性関係	6.5%	恋愛・異性関係	7.4%
いじめ	6.1%	セックステレフォン	5.2%	性	4.7%
セックステレフォン	3.2%	いじめ	4.8%	進路・将来・生き方	3.5%
進路・将来・生き方	2.5%	学業・成績	2.1%	学業・成績	2.4%
学業・成績	2.2%	進路・将来・生き方	1.9%	病気・健康	1.9%
性格・容姿	1.8%	性格・容姿	1.8%	部活・クラブ	1.8%
その他	21.0%	その他	21.0%	その他	17.2%

※掲載しているデータ（都道府県別トラヒックを除く）はチャイルドライン・データベースにより集計されたものです。2011年5月10日までに入力されたデータを使用しています。
 ※都道府県別トラヒックはNTTコミュニケーションズのトラヒック調査ツールにより算出しています。
 アクセス数とは、0120-99-7777に子どもたちが電話をかけた数、着信数は受けることができた数を表します。
 平均通話時間はフリーダイヤルで着信した全電話（228,487件）を対象としており、すぐ切れたものや無言電話なども含みます。